

令和元年松本市議会第1回臨時会

『招集あいさつ』

[元.5.20(月) AM10:00]

本日ここに、令和元年松本市議会第1回臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、おそろいでご出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

去る4月21日に執行されました、松本市議会議員一般選挙後の初の市議会の開催に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

改めまして、このたびの選挙におきまして、大変な激戦のなか、市民の皆様のご期待を担い、晴れて当選の栄に浴されました議員の皆様に対しまして、心からお祝いを申し上げます。

今後、伝統ある松本市議会の議員としての重責を果たされ、松本市政の振興、発展にご尽力くださいますようお願い申し上げます。

さて、皆様既にマスコミ報道でご承知のとおり、5月17日、国の文化審議会から、旧開智学校校舎を国宝に指定するよう、文部科学大臣に答申がございました。所有者の本市にとりましては大変ありがたく、重要文化財指定から国宝指定に至る、世紀を超えた慶事の喜びを、市民の皆様方とともに分かち合いたいと思います。

顧みますと、旧開智学校校舎は、女鳥羽川沿いの本町地籍に、教育を重んずる多くの人々の浄財によって明治9年に建設され、爾来、明治、大正を経て、昭和38年までの3代にわたり、地域の公教育を担ってまいりました。

この間、昭和36年3月に、擬洋風建築の代表作として

の文化財的価値が認められ、国の重要文化財に指定されましたが、幾度となく氾濫を繰り返す女鳥羽川の抜本的な対策として、拡幅工事が計画されたため、移転を余儀なくされ、昭和38年3月に、90年近くに及ぶ現役の校舎としての歴史を閉じております。

その後、松本教育の象徴とも言うべき重要文化財の校舎を後世に伝え、保存活用すべく昭和39年に現在地に移転保存され、半世紀を経て、凜とした美しさを保つ校舎として、特別な輝きを放って現在に至っております。

ここに、この度の国宝指定に関わり、多くの先人の皆様方の深遠にして尊い志と優れた先見性に、この場をお借りして、深甚なる敬意と感謝を申しあげる次第でございます。

私自身、市長就任以降、旧開智学校に関連する事業として種々のハード整備、並びにソフト事業を、議会の承認のもと、併せて市民の皆様の大なるご理解をいただき、鋭意その保存活用に努めてまいりました。改めまして市民の皆様に深く感謝を申しあげたく存じます。

また、平成28年から昨年までは、校舎落成140周年を記念し、旧開智学校校舎の価値を高める調査研究事業を行ってまいりました。今回の答申では、旧開智学校校舎の先駆的な計画性と建築的な完成度といった評価に加え、大工棟梁の立石清重氏による、建築当時の記録や図面類の調査研究も、文化財としての価値の再認識につながったとの評価をいただいております。

私といたしましては、今後とも旧開智学校校舎が「学び人」の行き交うまち、加えて「学都松本」の象徴として、市民の皆様が生涯にわたって学び続けるまちづくりに努めてまいります。

また、現在進めております校舎の保存活用計画に基づいて、市民や観光客の皆様により親しんでいただけるよう、周辺の環境も含めた整備に取り組んでまいります。

同時に、今後、とりわけ力を注がなければならない事として、松本城と旧開智学校校舎という二つの隣接する国宝が、相乗効果を高めつつ、市民の皆様の誇りとなり、さらなる「いいまち・松本」のまちづくりにつながるよう、市民とともに推進してまいり所存でございます。

なお、大変ありがたいことに、松本市名誉市民、小澤征爾様をはじめ、多くの皆様からお祝いのメッセージをいただいております、心から感謝を申し上げます。

次に、第36回全国都市緑化信州フェアについて申し上げます。

本市が、長野県、並びに大町市・塩尻市・安曇野市の自治体とともに実行委員会に参画し、準備を進めてまいりました「第36回全国都市緑化信州フェア」、愛称「信州花フェスタ2019～北アルプスの贈りもの～」が、去る4月25日、メイン会場の県松本平広域公園において、大勢の皆様のご参加のもと開会いたしました。

当日のメイン会場は、関係の皆様と市民ボランティアの皆様のご協力により、会場一帯があざやかな花と緑に包まれ、まさに花と緑の祭典にふさわしいものでございました。この場をお借りして、お力添えをいただきました皆様に、心より感謝を申しあげる次第でございます。

大型連休中には、ご来場いただいた方が、当初の見込みより3万人多い約15万人に達し、予想を上回る好調な滑り出しとなっております。

美しく輝く残雪の北アルプスを望みながら、花と緑の持つ普遍的な魅力を、五感で感じられる会場となっておりますので、6月16日までの53日間の期間中、全国の皆様に、信州松本の花と緑の素晴らしさを感じていただくようお願いしております。

また、5月25日から6月8日までの15日間、松本駅前広場や花時計公園等の中心市街地に設置をいたします、松本市サテライト会場におきましては、花いっぱい運動発祥の地らしく、花と緑であふれる街なかを歩いて楽しんでいただくよう、次代を担う子どもや若者が参加し、コンテストや軽トラックガーデンなどの様々なイベントを開催し、信州花フェスタに彩りを添えることとしております。

信州花フェスタの成功に向け、市民の皆様にもぜひ会場に足をお運びいただくようお願い申しあげるとともに、引き続き、関係各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

次に、信州まつもと空港の利用促進について申しあげます。

札幌丘珠線の新規就航や国内外へのチャーター便の増などにより、平成30年度の信州まつもと空港は、13万7千人余りの皆様にご利用をいただき、FDAが就航してから、最多の利用者数となりました。

特に、FDAの鈴木会長をはじめとする関係各位のご尽力により、昨年度に新規就航した札幌丘珠線は、大変好評でございましたことから、本年は7月12日から9月24日までの、75日間に運航期間が延長されることとなり、大変喜ばしく、ありがたく思っているところでございます。

札幌丘珠空港は札幌市内に位置し、同空港からは、函館、

利尻、釧路にも定期便が運航されている利便性の高い空港でございますことから、観光・文化交流都市協定を締結する札幌市をはじめとする、北海道と松本市との人・モノの交流が、ますます拡がるものと大いに期待をしているところでございます。

信州まつもと空港の地元松本市といたしましては、引き続き、長野県とともに、札幌線のほか、福岡線、大阪線の利用促進、チャーター便等による海外誘客など、信州まつもと空港の利用促進による、観光誘客・交流人口の拡大に取り組んでまいりますので、市議会をはじめ、関係の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、わが国は令和の時代が10連休を伴ってスタートし、観光地はおおいに賑わい、また様々な令和商戦が繰り広げられましたが、元号が替わっても、政治や社会情勢に大きな変革がもたらされるとは限りません。

現下の国際情勢はグローバル化であり、また、AIの急速な進展でございます。ただ、こうした潮流が人々の日々の暮らしに、今後、何をもたらすのかをしっかりと見定め、シンキンググローバルの一方、アクトローカルに徹し、松本市といたしましては引き続き、ぶれずに、真摯に「健康寿命延伸都市・松本」のまちづくりを進め、併せて「生きがいの仕組みづくり」に取り組んでまいり所存でございますので、議会におかれましては、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、議員の皆様には、くれぐれも健康にはご留意をいただき、これからの4年間、市民の代表として、市勢発展のため、大いに活躍されますことをご祈念、また、ご期待申しあげまして、召集のあいさつといたします。

(以上)